

# 石川九楊『河東碧梧桐—表現の永続革命』

歴史から抹消された伝説の俳人／書家の画期的な評伝



8月3日～10月6日 古川美術館・分館為三郎記念館  
(名古屋市)にて、「第二楽章」書だ！石川九楊展開催  
期間中、著者の公開制作、講演会、サイン会など  
イベント多数開催。ぜひご取材ください！

## 上野千鶴子氏激賞！

「俳句は芸術か？」

世界最短詩型である俳句は、音数律と切れ字——すなわち日本語と格闘せずには表現たりえない。

本書は「表現の革命」を論じて、真に革命的な日本語表現論だ！

題字：河東碧梧桐  
署名：著者自筆  
装幀：関口聖司

9月19日  
発売

税込 2625 円  
(本体 2500 円)  
408 ページ

## 著者紹介 石川九楊

一九四五年福井県生まれ。一九九〇年発刊の『書の終焉 近代書史論』（同朋舎出版）でサントリー学芸賞を受賞。一九九二年『筆蝕の構造』（筑摩書房）を上梓、「筆蝕」による書の読み解きの理論を確立。一九九六年『中國書史』（京都大学学術出版会）。二〇〇二年の『日本書史』（名古屋大学出版会）で毎日出版文化賞、二〇〇九年『近代書史』（名古屋大学出版会）で大佛次郎賞を受賞。二〇一六年から二〇一七年に、『石川九楊著作集』（全12巻）をミネルヴァ書房より刊行。

インタビュー等のお問い合わせは>>文藝春秋プロモーション部

TEL03-3288-6142 mail:[pr@bunshun.co.jp](mailto:pr@bunshun.co.jp)